

The Ogura Times

港区と区議会をもっと身近に

港区議会議員 小倉りえこ

2020.7 港区政レポート Vol.21

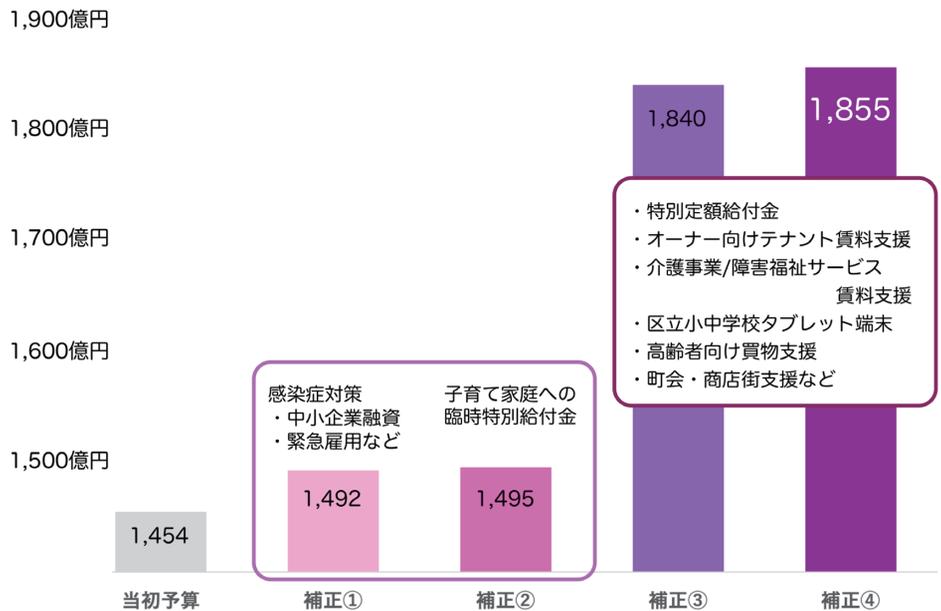
港区議会臨時会・定例会が開催され、新たな補正予算が可決されました。

コロナ対策予算が大幅増額

3月に可決した令和2年度の一般会計の当初予算は約1,454億円でしたが、5月の臨時会及び6月定例会にて、計4つの補正予算が提出され、いずれも可決となりました。

補正予算の数字の中には、ひとり10万円の特別定額給付金のために国から下りてくる予算も含まれています(約263億円)。

補正予算の財源は国や都から各自治体に振り分けられる支出金の他、港区が独自に積み立てている基金などから切り崩して活用します。



今後の港区の感染症対策

3月に行われた予算特別委員会では自民党会派を代表して総括質問に立ち、基金の活用など柔軟な補正予算で感染症拡大防止策を要請し、港区も我々の要望に応えるような施策を展開しています。

7月から感染症専門アドバイザーを迎え、区有施設の感染予防に関する相談や訪問指導など、必要に応じて適切な部署への相談が行われるようになりました。この他にも避難所における感染対策、プレミアム率を増やした区内共通商品券発行支援、区立小中学校内の水道蛇口を一部自動水栓化することが明らかになりました。



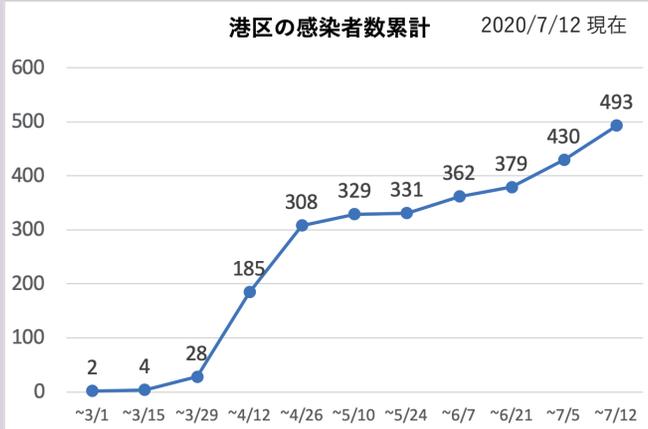
おひとり10万円が給付される特別定額給付金の申請締切が8/25です。給付をご希望でまだ未申請の方がいらっしゃいましたら、お忘れなく。

出来る範囲で継続した感染予防を

みなと保健所が受理した感染者数は、緊急事態宣言解除後に再び増加し始めています。感染経路不明は依然として多く、友人と会食する場合や職場・家族からの感染も報告されています。

新型コロナウイルスは接触もしくは飛沫(感染者のくしゃみや咳など)で感染することはすでにご承知の通りですが、これまで通り手洗いや換気、マスク着用など出来る範囲の対策は継続していきましょう。

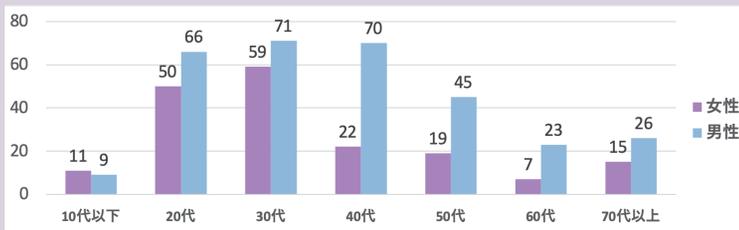




新型コロナウイルスの感染者が増加しています。

港区では区のホームページで週ごとの感染者数を公表しています。東京都は感染者の住民登録地別で集計しており、また港区では区内の医療機関から保健所に届出をするため、区民以外の感染者も含まれていることから東京都の公表数とは異なります。

みなと保健所の取り組みも日々変化をしています。都が指定した区内数カ所の外来病院・診療所の他、保健所独自で検体採取を行っていましたが、港区医師会のご協力や民間検査機関との提携により比較的スピーディーに対応が可能となりました。



この機会に、健康に関することを何でも相談できる身近で頼りになる**かかりつけ医**をお持ちになること、そしていざという時に困らないためにも、健康な時からかかりつけ医を見つけましょう。

発熱や呼吸症状

→ **かかりつけ医**

→ **電話相談センター**

平日8:30~17:15 みなと保健所 03-3455-4461	平日夜間・土日祝 都区市合同センター 03-5320-4592
--	---------------------------------------

呼吸困難や強いだるさ、高熱などの強い症状があればすぐに電話を



認定こども園は、保育園と幼稚園の特徴を併せ持った施設です。待機児童対策の一貫として港区では平成28年に区内最初の施設が芝浦に開設し、その後はどのようにしていくか長い期間検討を続けてきました。

現在の保育施設における最大の制度の壁は「保護者が就労しているか否か」の一点に尽きます。就労状況次第で転園させなくて良い認定こども園はもっと必要になるというたくさんの方の声に応え、港区は4年の期間を要しましたが、各地区総合支所管内に1園ずつ認定こども園を設置していく考えを初めて発表しました。

商業地域内の特定エリアにおける**風俗店出店抑制**を目指しています。

3年前からコツコツと活動をしています。対象地域内のうち、全住民と全事業者の過半数のご賛同をいただくことで初めて本格的な活動が始まる条例ですが、まずは麻布十番1丁目の一部で過半数の賛同が得られる見込みとなりました。麻布十番商店街が掲げる「十番ルール」のうちのひとつの実現に向け長期戦となりますが、継続して活動を進めていきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

麻 ABOUT 麻布十番商店街の十番ルール

健康・健全な商店街づくりを進めます。

風俗営業や客引きのない商店街づくりにご協力下さい。

「港区まちづくり条例」を活用したまちづくり

港区議会議員 小倉りえこ

- ◆港区麻布十番出身 港区立東町小学校卒 ◆米国サウスカロライナ大学理学部生物学科卒
- ◆バイオベンチャー、製薬企業の医薬品研究開発職から港区議会議員へ。現在2期目。
- ◆港区議会自民党議員団 副幹事長・保健福祉常任委員会 副委員長

〒106-0047 港区南麻布1-4-21-601



小倉りえこウェブサイト



YouTube チャンネル